



# 学校だより

10月号

葛野小学校教育目標

「未来を拓く 健やかな 葛野の子」

スローガン 「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ 外遊び」

令和4年9月30日

横浜市立葛野小学校

校長 阿山 美香

## 前期終わりの節目、そして後期へ

教務主任 鴨田 勝

あと数日で、前期が終わろうとしています。子どもたちが進級し、半年が経ちました。ご家庭では、お子さんについて、どのような点が成長したとお感じになっているのでしょうか。9日には「あゆみ」が配付されます。「あゆみ」をきっかけに、学校での成長とともに、家庭生活でのお子さんの成長も話し合っ、お子さんが自分の成長を実感できるようにしていただければと思います。

学校では、新型コロナ感染拡大防止とともに、熱中症対策も考慮しながら、教育活動を進めてまいりました。このような状況の中でも、子どもたちにとって思い出に残る活動ができるよう、学校行事についても制限のある中で最大限の内容を行ってきました。

昨年度後期に中止を余儀なくされた授業参観については、人数の制限はさせていただきましたが、実施することができ、子どもたちの学校での様子やがんばりを保護者の方に見ていただけたかと思えます。また、サンシャインスターカップでは、PTA 役員や葛野小支援隊の方々のご協力、保護者の方々のご理解をいただきながら、子どもたちは精一杯の競技や演技を行うことができました。このような大きな行事や保護者の方に実際に見ていただくことを通して、子どもたちは大きく成長していくことを実感しました。

9月2日、3日には、6年生の日光修学旅行を引率しました。6年生は、自分たちでスケジュールを立て、しおりや部屋レクで使う用具などを準備し、最高の思い出を自分たちで作り上げようと、夏休みに入る一か月も前から準備を進めてきました。話し合い、妥協点を探りながら、全体にとってよりよい方法を見付ける力、友達と協力しながら一つのことをやり遂げようとする態度、そして相手を思いやり、支え合おうとする姿勢が、この修学旅行という行事で大きく育ったと感じました。

後期には、音楽祭という大きな学校行事を中心に、地域や保護者、外部機関の方々などとのかかわりを更に増やしながら学習活動を進めていきます。学校行事や学習などの中での人とのかかわりを通して、主体的に学ぶ態度や相手のことを考えた行動なども育成していきたいと考えています。また、葛野小の教育活動全体で育成する資質・能力として、「問題発見・解決能力」「自分づくりに関する能力」を、中期学校経営計画で挙げています。各学年・学級それぞれで、日常の学習を通して、段階的にこれらの資質・能力を身に付けていけるよう授業改善に努めています。保護者の皆様にも、学校説明会資料や学校ホームページなどをご覧いただいて、ご理解ご協力を賜り、学校と家庭・地域で連携・協働し、子どもたちを育成していきたいと思えます。

前半の節目として、児童一人ひとりが、そして教職員も振り返りをしっかりと行い、後期につなげていきたいと思えます。これからもご協力よろしくお願いたします。